月 工場・倉庫通信 ^{令和3年1月号}

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「So-Kou」は、株式会社安成工務店が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。お客様のご要望に真摯に向き合い、"低価格・短工期・高品質"な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「So-Kou」を宜しくお願いいたします!

【発行元】

SO KOU

Depot, Factory and Large store Construction System

倉庫・工場・大型店舗 建築システム

株式会社安成工務店 〒751-0856

山口県下関市綾羅木新町3丁目7-1

TEL: 083-252-0001 FAX: 083-252-2750

「危険物倉庫」の今後の市場性と事業者の"生の声"とは?

「危険物倉庫」とは、火災や爆発、中毒、放射能汚染の危険性のある物質を保管する倉庫です。

例えば、「香水」は、成分の70%以上がアルコールとなるため危険品となります。

今回は、「危険物倉庫」の市場性についてご紹介します。



屋内貯蔵庫(危険物倉庫)の需要

屋内貯蔵庫は、全国に約4.9万棟(2019年統計データ)ありますが、2012年から8年間で1,799棟減少しています。

危険物施設全体では、1985年約61.3万棟をピークに減少し続け、2019年は約40.0万棟となっています。

危険物倉庫の事業者の声

「危険物倉庫は資格や立地等の条件があり、なかなか開発が進んでいない。まだまだ需要は大きい」と、危険物倉庫の関係者は話します。

2019年度の国内の宅配便取扱個数は、EC化を背景に約43.2億個と2015年から増え続けています。

このため、「危険物倉庫の隣に、普通倉庫を建設するなど検討している。」と、 取扱い商品を広げる企業も出始めています。

お問合せは





お気軽にご相談ください。担当:松本、上本、中村

TEL083-252-0001 /FAX083-252-2750

〒701-0164 山口県下関市綾羅木新町3丁目7-1

倉庫業の抱える課題と求められる対応とは?

倉庫の老朽化への対応

屋内貯蔵庫では、築40年以上を経過し、破損・老朽化した施設が更新時期を 迎えています。

従来は、危険物倉庫会社の自社倉庫が主流でした。

近年は、新規建設にかかる投資リスクを考慮した経営方針の転換から、ディベロッパーが自社建てした倉庫に、テナントで入る賃貸契約も増えてきています。

人材不足への対応

倉庫業では、フォークリフトや、デバン、ピッキング要員などの人員不足も課題 となっています。

危険物倉庫業界では、10年ほど前から自動倉庫化が注目を集めはじめました。

移動ラック倉庫、立体自動倉庫など、倉庫業でも導入する企業も増えています。

無人フォークリフトや、監視カメラ、タブレットでの検品、 OCR機能など自動 化への対応が今後は求められます。

まとめ

SO KOU

施設の更新など、運営上、投資が必要なものはありますが、倉庫業の市場性やトレンドを踏まえて"失敗しない倉庫経営"に繋げていただければ幸いです。



倉庫工場建築に使える 補助金レポートが ダウンロードできる!回線 (全42ページ) これ 「so-kou」で検索!



こちらまで





お気軽にご相談ください。担当:松本、上本、中村

TEL083-252-0001 /FAX083-252-2750

〒701-0164 山口県下関市綾羅木新町3丁目7-1

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて **083-252-2750**迄ご返信をお願い致します。

